科目名 Subject	日本語総合Ｇ General JapaneseG		教員名	日本語ﾁｰﾑ	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1
必修／選択	選必	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	○	○	◎	◎	◎
科目の概要	日本学習の中級段階の基礎ともいえる文法表現、漢字、語彙、正作文などを総合的に学習する。この日本語総合Gは日本語総合F、日本語総合Hと同じテキストを使い、本文の精読、重要な文型と表現、関連表現、応用練習(話す・書くを学習することができる。。また、パソコンを使い、中級文の入力スキルも身につけることができる。				
授業の目標	中級レベルの学習をテキストを使用しながら授業を行う。内容としては初中級から引き続き高等な書き言葉、改まった日本語表現を6000から8000の修得することができる。。また、中級レベルの1000字から1200字文章が書くことができる。				
時間外学習 （予習・復習）	テキストに出てくる語彙や表現の意味確認などその数も増えるので30分から1時間程度の予習をして授業に参加することを前提とした授業をする。また、将来日本での就職の計画の中に入れ、Ｎ２レベルからN1レベルの学習も視野にいれ復習も必要である。				
教科書・教材	教科書	学ぼうにほんご中級　専門教育出版編			
	教材	聴解CD			
	使用設備・備品	パソコンで文型練習文の作成をおこなうことがある			
	参考文献				
評価方法	授業への参画度とくにユニークな作文、ストーリー展開などに重点を置き、平常を全体の40%、期末試験を60%で全体を評価する。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	レポートに対して、コメントを返します。				
履修上の注意	授業への参画度とくにユニークな作文、ストーリー展開などに重点を置き、平常を全体の40%、期末試験を60%で全体を評価する。				
本科目履修と関連する資格	資格名				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	第一課　話す・聞く	頼みにくいことを丁寧に頼むことができる。また感謝の気持ちを表すことができる。	オリエンテーションをする。特に予習に90分から120分、復習人も120分くらいかけること
第２回	第一課　文法練習・読む・書く	本文の精読　ものの歴史のよさを読み取ることができる	第一課をまずよく読むこと。新しい語彙、漢字や表現などの意味もよく調べておくこと
第３回	第二課　文法練習・話す・聞く	わからない言葉の意味を聞き、どうすればいいか確認することができる	第二課の新しい語彙、漢字や表現調べ、なめらかに話せるようにしておくこと
第４回	第二課　読む・書く	本文精読　外来語の例とその意見文を探し、答えることができる。また自分の意見を言うことができる	本文をよく読むこと。新しい語彙、漢字や表現などの意味もよく調べておくこと。外来語についての意見を考えること
第５回	第三課　文法練習・話す・聞く	事情を説明し、丁寧に謝ることができる。また、変更も申し出ることができる。	第三課の新しい語彙、漢字や表現調べ、丁寧体と普通体の確認を復習しておく
第６回	第三課　読む・書く	グラフを読み取ることができる。また、その内容を予測したり、その予想の結論を考えることができる。	グラフの読み方を見ておくこと。またそこから予想されることも考え、メモしておくこと
第７回	第四課　文法練習・話す・聞く	伝言を頼むことができる。受けることもできる。また、留守番電話に伝言を残すことができる	第四課の新しい語彙、漢字や表現調べ、伝後をするとき受けるときの注意を考えメモしておくこと
第８回	第四課　読む・書く	作者の気持ちの変化を読み取ることができる。また、その根拠も読み取ることができる。	嫌いだったことが好きになるきっかけについて考え、そのとき自分がどんな気持ちだったのかメモしておくこと
第９回	第五課　文法練習・話す・聞く	道順を尋ねることができる。反対に教えることもできる。	自分の経験から上手な道順の聞き方、教え方を箇条書きにしておくこと
第１０回	第五課　文法練習・読む・書く	地図について述べられた本文の精読をして、その理由を読み取ることができる。また、その感想を書くことができる。	地図にはどんな種類があってそれが何のための地図か調べて常識的はもの、常識とは違うものはその理由を考えメモする
第１１回	第六回　文法練習・話す・聞く	許可を申し出ることができる。また、交渉いて許可をもらうことができる。	第六課の新しい語彙、漢字や表現調べ、なめらかに話せるようにしておくこと
第１２回	第六回　読む・書く	指示後「こそあど」が何を指すか考えることができる。また、「こそあど」の指す距離が理解することができる	自分の十年後くらいの自分が何をしているか考えメモし、そのためにはどうしたらいいかアイディアをまとめておくこと
第１３回	第七課　文法練習・話す・聞く	誘いを受けることができる。また誘いを上手に断ることができる。	うれしい誘われと嫌な誘われの経験を思い出しメモし、その理由、状況などもメモしておく
第１４回	第七課　読む・書く	誰が何をしたかを確かめながら読むことができ、その根拠を読み取ることができる。	日本の笑話について調べて、自分の国の笑話とはどんな点で違うのか考え、めもしておく
第１５回	この期のそうまとめ	そうまとめと後期試験について	試験勉強には普段２倍、３倍の時間をかけ、自分自身で結果に期待できるようの試験準備をすること